

皆様に、最新の労働災害情報をお届けしています！

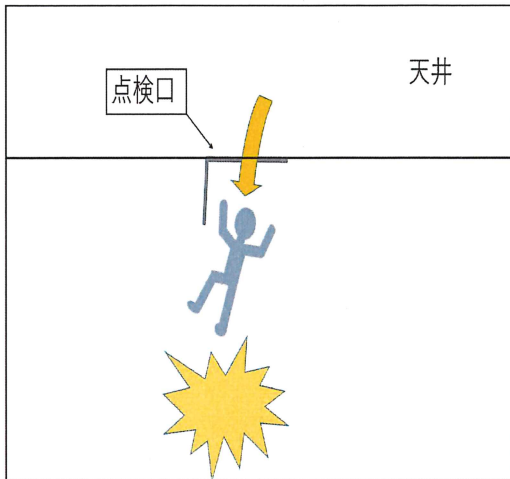
災害発生情報 No.134

令和5年4月

筑西労働基準監督署 安全衛生課

当署管内で発生した労働災害情報をお届けしています。各事業場の安全衛生活動にご活用下さい。

業種	食料品製造業	経験年数	1年	年齢	20歳代
発生年月	令和5年2月	発生時刻	17時30分頃		
発生状況	工場の天井裏に設置されている空調用のダクトのフィルターを交換するため、被災者が天井裏に設けられた点検口（蓋が固定されていない状態）の上を歩いたところ、点検口が開き約5.5メートル下のコンクリート床に墜落した。 なお、被災者は保護帽を被っていなかった。				
負傷の程度／部位	全身打撲	休業見込期間	若しくは死亡		



1 原因

- ① 点検口の蓋が固定されておらず、また、点検口の周囲に柵等を設置するなどの墜落防止措置が講じられていなかったこと。
- ② 墜落時保護用の保護帽を着用していなかったこと。
- ③ 墜落の危険のある場所での作業に係る安全作業手順を定めていなかったこと。

2 対策

- ① 墜落の危険がある場所には柵等を設置するなどの墜落防止措置を講じること。
- ② 墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある場合には、保護帽（墜落時保護用）を着用させること。
- ③ 安全作業手順書を作成し、関係労働者に周知徹底すること。

◆安全衛生の窓◆ <第14次労働災害防止推進計画について>

茨城労働局は、本年3月30日付けで、労働災害による死亡者を撲滅し、安全で健康に働くことができる職場環境の実現に向けて、2023年度から2027年度までの5か年間を計画期間とする茨城労働局版「第14次労働災害防止推進計画」を策定しました。

本推進計画は、先ほど国が策定した「第14次労働災害防止計画」を受けて、当局における具体的な取組事項や目標等を定めたものです。

本推進計画では、具体的な取組目標を「アウトプット指標」として定め、また、アウトプット指標を達成した結果として期待される事項を「アウトカム指標」として定めています。

本推進計画を達成することにより、労働災害全体としては、

- ① 死亡災害については、2022年と比較して、2027年においては、5%以上減少する。
- ② 死傷災害については、2021年までの増加傾向に歯止めをかけ、死傷者数については、2022年と比較して2027年までに減少に転ずる。

ことが期待されます。

本推進計画の具体的な内容は、茨城労働局のホームページに掲載しておりますので、ぜひご参照ください（右のQRコードからご確認ください）。

